

【目指す子ども像】

- 1 意欲的に学び、チャレンジする子ども（知）
- 2 自他を大切にし、思いやりのある子ども（徳）
- 3 心身を鍛え、活動的な子ども（体）

【目指す教師像】

- 1 指導力の向上を目指し、自ら学び続ける教師
- 2 生徒にやさしさ、厳しさ、感動を与えられる教師
- 3 組織の一員として責任を果たし、信頼される教師
- 4 礼儀と人権感覚を備えた教師

令和6年度
大宮中学校 経営計画

【生徒・教員共通キーワード】 『つながりは、「挨拶」と「ありがとう」から！』

【重点目標】 『ふるさとを愛し、夢や希望をもって未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒の育成』

～ 人権尊重を基盤に、個をほめて、集団で認めて、他者（社会）とつなぐ ～

（①実態把握 ②指導・支援 ③的確な評価 ④集団全体の価値へ ⑤つながる場の設定）

生徒指導【実践上の視点】

【教職員として取り組むこと」、「生徒が自ら取り組むこと」、そして「共に取り組むこと」を明確に】

①「生徒一人一人が『自己指導能力』を身に付けるために」…あらゆる教育活動の中で育成を目指す

- 「安全・安心な風土」の醸成…毅然とした指導と個性や多様性を認め合う風土を作っていく支援（人権教育を基盤）
- 「自己存在感」を育てる…一人の人間として大切にされているという「自己存在感」を実感させる指導
- 「共感的な人間関係」を育てる（学級活動）…みんなで考える支持的で創造的な学級づくり
- 「自己決定の場」の提供（学習指導）…自らの意見を述べるなど「主体・対話、深い学び」の授業改善

②「居場所づくり」と「絆づくり」

- 「安心でき、自己存在感や充実感を感じられる『場所』を作り出すこと」（教職員が行なうこと）
- 「主体的に取り組む共同的な活動を通して『絆』を感じ取り、紡いでいくこと」（生徒自身が行なうこと）

学力充実向上

特別活動

教育相談

特別支援教育

生徒一人一人に応じた「個の指導・支援」＋「集団活動による試す場」の設定（セットとして指導）

他者との関わりを常に意識させ、自分を見つめ、そのことによる学びや思いを行動化させる

「ほめて伸ばす指導（他者との関わりの視点）」による「自己存在感」の醸成

○ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実践（他者との関わり）
○探究的な学びへのチャレンジ（総学を通じた研修）
○各種データも活用した状況把握と指導・支援

○定期的な生徒会活動の企画・運営と振り返り
○特活分野における学園小学校との連携強化
○行事と日常生活をつなぐ視点と取組（年間）

○卒業後も含めた社会的自立を目指す支援
○総合的なコーディネーターによるチーム支援
○専門家・関係機関等との更なる連携・活用

○特別支援教育についての更なる共通理解
○社会性の育成をベースとした学習指導
○興味関心をもとにした学習活動の展開
○保護者との連携継続

あらゆる場面・機会を通じた“心の教育”の推進：「集団の中での人間関係づくり」

【からだと心の健康を第一に】

- 業務は担当が中心となりつつも、みんなで取り組む
- 生徒下校時刻を勤務時間内に設定
- 「掃除なしデー」の有効活用
- 休憩時間・リフレッシュ年休の積極的な取得
- 「校内働き方改革推進会議」による取組実施

【チーム（組織）としての教育力（学校力）向上】

- 日常の危機管理による教育の効率化（人権尊重、コンプライアンス遵守、セクハラ・体罰等の禁止、会計処理、個人情報保護等）
- キャリアに合わせた自己研鑽
- 相互の人材育成を視点とした日常の関わり
- 専門家・関係機関等の人材を積極的に活用
- 主任のコーディネート力の発揮（校内分掌連携）